

出雲崎町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界的規模で自然災害が頻発、激甚化しています。この地球温暖化は、人為的な温室効果ガス排出の増大に起因するといわれ、自然環境や生態系に悪影響を及ぼし、人類やすべての生き物に多大な損失を与えるなど、極めて深刻な事態となっています。

2015年に合意されたパリ協定の「世界の平均気温の上昇を産業革命前より2℃未満に抑えるとともに、1.5℃に抑える努力をする」との目標が国際的に広く共有され、我が国においては、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言しました。

今回、「出雲崎町地球温暖化対策実行計画」の策定に合わせ、本町においても、これまで以上に脱炭素社会に向かって各種施策を推進し、町民・事業者・行政との協働により、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和6年(2024年)3月19日

出雲崎町長 仙海 直樹